



06 山留め

ツールの呼び出し方

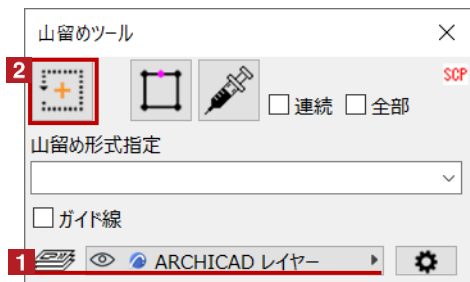
メニューバーからSCP→SCPランチャーを立ち上げ、「山留め」のアイコンを選択します




山留めのアイコンを選択します

作成方法

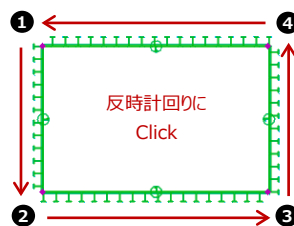
配置レイヤーを選択後、画面上で任意の位置を反時計回りにクリックして山留めを配置します



1 配置するレイヤーを選択します

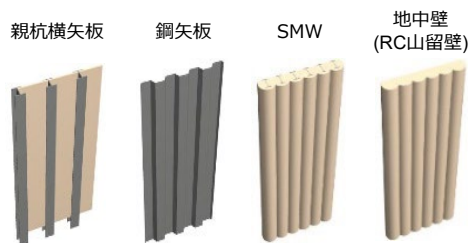
2  をクリック後、任意の位置に反時計回りに配置します

< **2** 反時計回りに配置 >



※時計回りに作成すると矢板面が外側になります

< 作成できる山留め種類 >



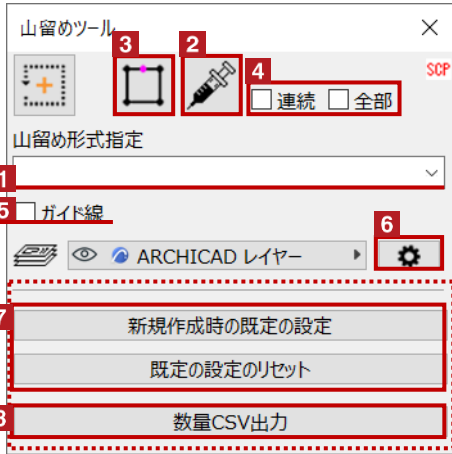
※新規配置の際は、「定義番号1（親杭横矢板）」で作成されます



編集方法

作成した山留めの定義番号や仕様などの変更が可能です

新規配置の際は、[定義番号1（親杭横矢板）]で作成されます。定義番号を変更する場合は、辺ごとに指定が可能です



1 山留定義番号の変更

変更したい山留めを選択し、定義番号を指定します

定義番号ごとに山留の形式などを設定できるので、設定が同じ辺ごとに定義番号を指定します

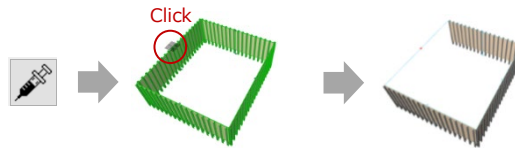


※各定義の仕様は、[オブジェクト設定画面 (CTRL+T)]から変更・登録が可能です。

2 仕様を変更する辺の選択

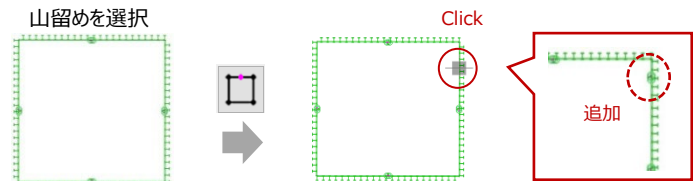


をクリック後、山留定義や仕様を変更したい辺上をクリックします



※山留定義を [0] - に指定すると山留めが非表示になります
ガイド線を表示し、別の定義番号を指定すると表示されます。

< その他のダイアログ >

3 頂点の追加 (4 連続に を入れると、連続で頂点の追加が可能になります)

4 変更の連続処理 (連続) ・一括処理 (全部) の指定

5 ガイド線の表示/非表示の切替

6 新規作成時の既定設定・数量CSV出力の展開

7 設定内容を新規作成時の設定に登録

山留めを選択し[新規作成時の既定の設定]をクリックすると、選択した山留めの定義内容を新規作成時の項目として設定できます

[既定の設定のリセット]をクリックすると新規作成時の設定がデフォルトに戻ります

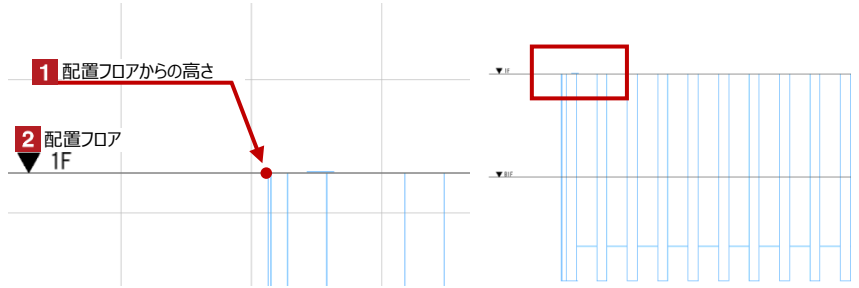
8 数量CSV出力

選択した山留の数量CSV出力が可能です



設置基準

山留めオブジェクトの設置基準高さは、オブジェクトの上端です

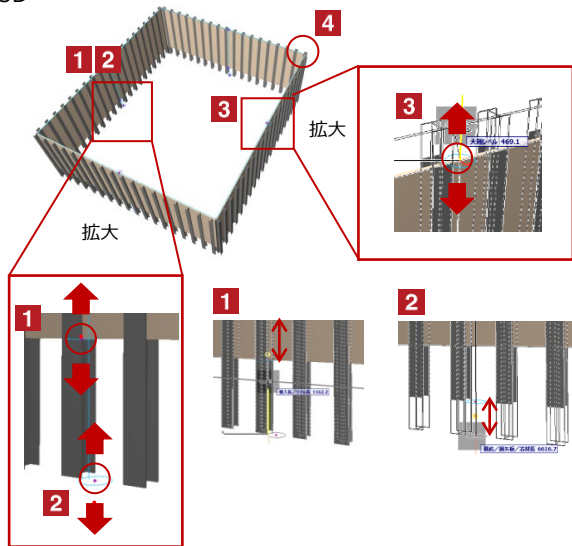


山留の形状変更

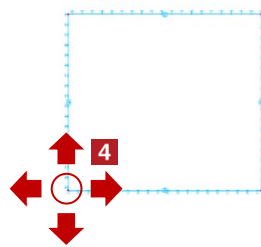
Hotspotをクリックすると、山留めの長さやレベル、頂点の位置の個別の変更が可能です

赤のHotspotをクリック→パレットの「頂点を移動」で山留めの長さ、レベル変更が可能です

▶ 3D



▶ 2D

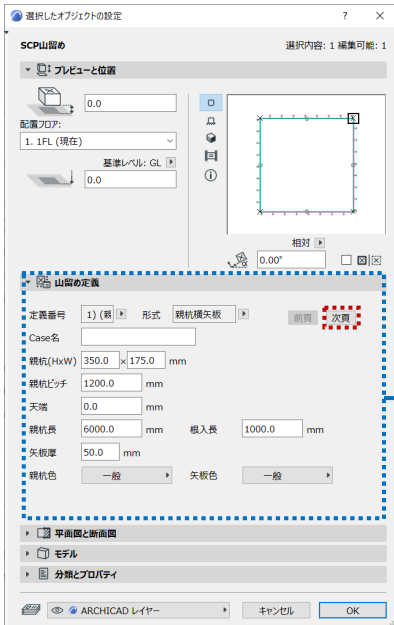


- 1 矢板下端の長さの変更
- 2 芯材の長さの変更
- 3 天端レベルの変更
- 4 頂点位置の移動

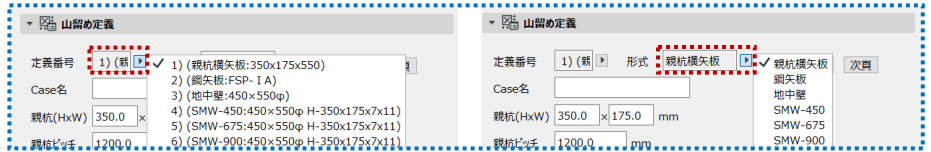


オブジェクトの設定

配置した山留めを選択し、「オブジェクトの設定画面 (Ctrl+T)」で各種設定を変更します



定義番号を選択し、山留めの種類を指定します



山留めの仕様を変更します (選択した形式により1頁目のみ設定項目が変わります)

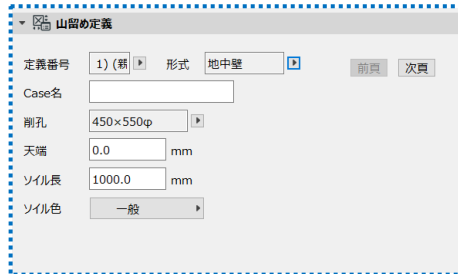
▶ 親杭横矢板



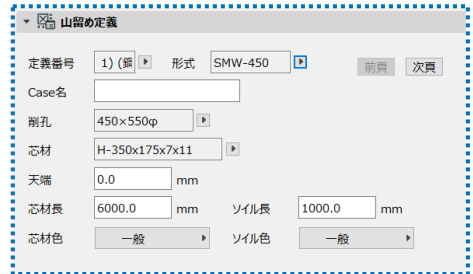
▶ 鋼矢板



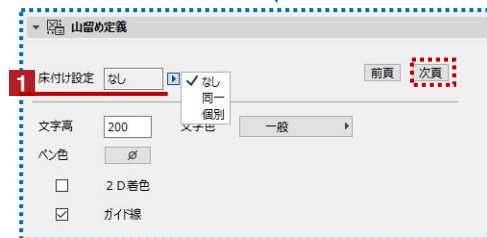
▶ 地中壁



▶ SMW



※ [次頁] をクリックするとページが切り替わります



- 1** 床付けレベルの設定
 [同一]: 全ての掘削深さが同一の場合に利用します
 [個別]: 部分ごとに掘削深さが異なる場合に利用します

※どの山留め形式を選択しても[次頁]には[床付け面積][文字高][文字色][ペン色][2D着色][ガイド線]が表示されます

※ [次頁] をクリックするとページが切り替わります



- 2** 数量表示
 床付け設定をすると、見付面積が表示されます